

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	産業経済部		
	課名	商工観光課		
	係名	観光係		
	記入者		電話(内線)	217

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]		継続		(2) 事務事業 の名称		結城百選推進事業				(3) 事業の 優先度		B			
(4) 総合計画での位置づけ							(6) 事業主体		市						
① 事業の区分		主要事業							(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	一般事業費(ソフト事業)				
② 施策コード		34101		(総合計画掲載ページ)		96		ページ		会計区分	一般会計				
基本目標(政策)		3歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)					財源区分			市単独					
基本施策		3-4地域資源を活用してにぎわいと交流を促進する観光の振興(観光)					予算科目			款 7		項 1		目 5	
施策		①地域資源を活用した観光の振興					予算書上の			観光振興事業費					
施策内容		1地域資源を活用した観光の振興					事業名称			(予算書		ページに掲載)			
(5) 事業期間		開始				12 年 3 月から		(8) 事務分類							
		終了				22 年 3 月まで (10 カ年)		根拠法令							

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象 (だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)
結城市民及び観光客	結城市民が郷土への誇りと愛着を深め、次世代に対し、郷土財産の継承を目的としており。併せて観光名所として、観光の振興を図る。
(2) 手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
・結城百選選定委員会において「結城百選118箇所」が選定された。 ・選定箇所に記念碑を設置(90箇所に設置)残り28箇所は設置が難しいため、未設置とする。 ・広報結城に案内記事を掲載(平成15年度～平成22年度) ・案内パンフレットの作成(平成23年度) ・結城市観光ボランティアガイドによる結城百選めぐりの実施(例年11月末)	結城百選選定委員会
(5) 事業をとりまく環境の変化(社会環境、市民ニーズ等)や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	
事業(碑設置)は終了している。今後は、維持管理の面で実施していく必要がある。神社、仏閣の敷地や公共施設の改修に伴い、碑の移動等が考えられるので、要望があった場合は随時対応していく。また、市内小学生、中学生の授業に取り入れ、市(郷土)に愛着を持ってもらえるようにする。	

3. 事業コスト

行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映						
実施計画												
● 予算内訳		実績額（千円）		当初予算額（千円）		計画額・見込額（千円）						
事業内容		27 年度		28 年度		29 年度		30 年度		31 年度		
(1) 事務事業費の コスト	事業費	パンフレット作成		0								
	合計											
	財源	国庫支出金 (千円)										
県支出金 (千円)												
地方債 (千円)												
その他特定財源 (千円)												
一般財源 (千円)												
合計 (千円)												
補助・起債制度名												

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）									
指標の名称				単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）									
指標名	散策イベント（観光ボランティアガイド主催）	目標値	回		1	1	1	1	
		実績（見込）値		1	1				
		目標値							
		実績（見込）値							
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）									
指標名	結城百選散策イベント各種参加者数 ・結城百選観て歩き ・結城七福神巡り	目標値	人		200	200	200	200	
		実績（見込）値		78	100				
		達成率		39.0 %	50.0 %				
		目標値							
		実績（見込）値							
		達成率	%	%					
5. 事業評価									
(1) 平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。									
パンフレットを配布（主に小学3年生）し、教材として利用していただくようお願いした。 ※小学3年生は町探検として、地元の歴史や建物を学習している。結城百選は、地元の推薦で選定されているため郷土を知る上で最適である。									
(2) 項目別評価									
評価項目・客観的評価					理由				
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	市内外の方に結城市の文化や歴史を周知する必要がある。					
妥当性	実施主体の妥当性	B	どちらとも言えない	文化財の要素が大きい、観光の要素、小中学生の学習の要素も併せている。					
	手段の妥当性	B	どちらとも言えない	記念碑の設置が終了しており、管理についても、各箇所（地主）に任せている。					
効率性	コスト効率 人員効率	B	どちらとも言えない	事業が終了しているため、コスト・人員共に必要ない。					
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	広い範囲に対して便益が提供されており、偏りは見られない。					
有効性	成果の向上	B	どちらとも言えない	市内各所や市内小学生に配布し学習の一環として、周知している。					
進捗度	事業の進捗	B	どちらとも言えない	記念碑の設置が終了しているため、特に事業として取り組むことはない。					
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。									
歴史・文化に関する問い合わせが年々増加している。そのため、パンフレット及びSNS等を活用し、市内外の方に周知をしていく。今後はコース（サイクリングロード）設定が必要と思われるため、計画検討をしていく。									
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？									
観光ボランティアガイドが主催する散策イベントの支援を継続する。 パンフレット内各地区のコースを随時見直し、よりよいコースを設定していく。 パンフレットを小中学生を対象を継続的に配布し、結城の歴史と文化を深く知るきっかけを作る。									
6. 事業の方向性判断									
評価主体		28年度以降の事業の方向性			評価理由・根拠				
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う		改善・改革しながら継続（成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減）			注）記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。				
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う		改善・改革しながら継続（成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減）			結城市民が郷土への誇りと愛着を深め、次世代に対し、郷土財産の継承を目的としていることから、併せて観光名所として、パンフレットの作成及び散策コースを設定し、観光の振興を図る。				
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う					上記評価のとおり。				